

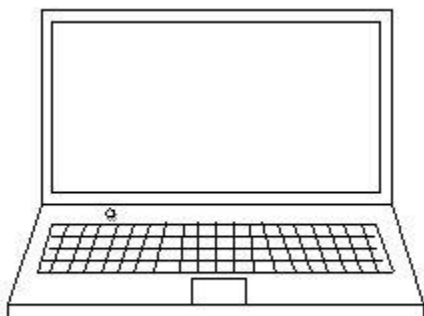
X線画像処理ワークステーション DIP-500WS

【形状・構造及び原理等】

*形状、構造

本装置は以下の構成品で成り立ち、コンピュータに専用のソフトウェアが組み込まれたワークステーション装置である。

- (1) コンピュータ
- (2) ACアダプタ
- (3) 外付け光学ドライブ



コンピュータ

オプション構成品は以下の通り。

- (1) ソフトウェアプロテクションキー

原理

医用画像診断装置（CR等）またはそのデジタル画像を保管した画像サーバからメディアを介して画像を取り込み、画像データを表示する装置である。オペレータは、キーボード等を用いて画像データを随時ディスプレイ上に呼び出し、必要に応じて画像処理を施すことができる。取り扱う画像データの形式は、DICOM形式及びTIFF形式である。

【使用目的又は効果】

画像診断装置等で収集された画像や情報に対し、各種処理を行い処理後の画像や情報を表示し診療のために提供すること。

【使用方法等】

使用方法

1. 使用準備
 - (1) コンピュータ、ACアダプタおよび付属品のコード類が接続されていることを確認し、電源スイッチを入れる。
 - (2) コンピュータにログオンする。
 - (3) コンピュータのOSが起動することを確認する。
2. 操作
 - (1) 装置を初めて使用する場合、ソフトウェアプロテクションキーをコンピュータのUSBポートに差し込む。
 - (2) 対象となる画像データが保存されているメディアをコンピュータに挿入する。

- (3) 画面上の起動アイコンをクリックして画像処理ソフトウェアを起動させる。
- (4) 画像処理ソフトウェア上で画像データを選択し、表示させる。
- (5) 画像処理ソフトウェアのメニューにしたがい、表示された画像に対して回転、輝度反転、骨密度パラメータ計測等の操作をキーボード等から行う。

3. 終了

- (1) コンピュータからメディアを取り出す。
- (2) 画面上の終了アイコンをクリックするかあるいはメニュー項目から終了機能を選択し画像処理ソフトウェアを終了させる。
- (3) ソフトウェアプロテクションキーは差し込んだままにしておく。
- (4) 必要に応じてコンピュータをシャットダウンさせる。

操作方法の詳細については、本装置の取扱説明書を参照すること。

【使用上の注意】

重要な基本的注意

1. ネットワークに接続した環境で使用する場合は、コンピュータウイルス及び情報漏えい等に注意すること。
2. ネットワークに接続する際は分離装置を用いること。
推奨品：ネットワーク分離装置 QW-100Y (日本光電)
3. 指定された機器以外は接続しないこと。
4. 本装置を強い電磁界が発生する場所で使用しないこと。
5. 本装置は防爆型ではないので、装置の近くで可燃性及び爆発性の気体を使用しないこと。
6. 付属の電源ケーブルは本装置以外では使用しないこと。
7. あらかじめインストールされているもの以外のソフトウェアをインストールしないこと。
8. 画像処理前に、画像処理に適切なサイズで画像表示するように操作すること。

*〈サイバーセキュリティに関する注意〉

本装置は医療機器情報システムの“安全管理ガイドライン”に準拠した環境のネットワークで使用する。詳細はシステム取扱説明書の6章を参照すること。
ネットワークに接続する際は“安全管理ガイドライン”で求められている環境において使用する。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

貯蔵・保管方法

保管環境条件

- (1) 温度：-20℃～+60℃
- (2) 湿度：+10%～+90%（但し結露なき事）

耐用期間

5年（当社データ自己認証による）

【保守・点検に係る事項】

使用者による保守点検事項

項目	点検頻度	点検内容（概要）
表面の清掃	適宜	システムの表面を清掃する
画像の削除	適宜	ハードディスク上の不要な画像を削除する
ソフトウェアプロテクションキーの計測可能回数の確認	適宜	ソフトウェア上で残りの計測可能回数を確認する（必要に応じてライセンスの更新を業者に依頼する）

保守点検は必ず行うこと。

*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者

浜松ホトニクス株式会社

製造業者

浜松ホトニクス株式会社 常光製作所

連絡先

浜松ホトニクス株式会社

カスタマーサクセス部 カスタマーサービス

TEL：053 431 0145 (直通)

e-mail：support@sys.hpk.co.jp

サイバーセキュリティに関する問合せ

連絡先と同じ